

HSVN

葉山災害ボランティアネットワーク

2026年度総会 議案書

日 時 2026年6月14日（日）午後1時30分より

場 所 葉山町福祉文化会館 大会議室

総会議案

- 第1号議案 2025年度活動報告及び
同収支会計報告並びに会計監査報告
- 第2号議案 2026年度活動計画
- 第3号議案 2026年度予算
- 第4号議案 役員改選
- 第5号議案 会費の改定

2026年6月14日開催の2026年度通常総会において承認

【第1号議案】 2025年度活動報告及び収支会計報告 並びに会計監査報告

葉山災害ボランティアネットワーク（以下「HSVN」と略す）2025年度の活動を振り返ると、地域や学校からのお声かけが増えたことで、平時の地域防災や防災教育に関わる機会が大きく広がった一年となった。あわせて、災害ボランティアセンターに関する準備や関係機関との連携についても継続して取り組んできた。

2025年度の活動計画基本重点事項に照らし、活動の状況を報告する。

〈2025年度活動計画 基本重点事項〉

1. 実効性ある災害ボランティアセンターの準備
2. 地域防災力を高めるための支援
3. 認知促進と新会員の獲得
4. その他（被災地支援活動の継続・組織体制の見直しと体質強化）

1. 実効性ある災害ボランティアセンターの準備

葉山町社会福祉協議会（以下「葉山町社協」と略す）と連携し、葉山災害ボランティアセンター（以下「HSVC」と略す）を円滑に設置・運営するため、マニュアル整備や設置・運営訓練などを実施した。

①HSVC設置・運営マニュアル改訂作業

HSVC設置・運営マニュアル改訂検討会やkintone（キントーン：サイボウズ社が提供するクラウド型の業務アプリ構築プラットフォーム）の操作手順検証を重ね、3月18日に「**HSVC設置・運営マニュアル Vol.4**」を公開した。

②**HSVC設置・運営訓練 第1回** 8月3日(日) 葉山町教育総合センター（葉山町社協と共催）
kintoneを用いたHSVCでの当日の流れについて、事前受付のボランティアのチェックインから当日マッチング、活動終了後の帰着報告、活動証明書の発行までの手順確認および検証を行った。【参加者 23名(うち会員10名)】

③**HSVC設置・運営訓練 第2回** 3月22日(日) 葉山町福祉文化会館（葉山町社協と共催）
災害ボランティアセンター（以下「災害VC」と略す）の運営および運営支援を多く経験された講師を招いて、実際の災害時における支援ニーズや対応など災害VC運営に必要となる話をうかがった。【参加者 41名(うち会員12名)】

④葉山災害ボランティアセンター連携会議 2月12日 葉山町社協（葉山町社協主催）

HSVCの設置・運営を円滑にすすめるため、関係する行政・社協・民間団体による事前協議である連携会議に出席。新しいHSVC設置・運営マニュアルについての承認、葉山町と葉山町社会福祉協議会の間での協定締結にむけた協議などを行った。

⑤三浦半島地区災害ボランティアネットワーク連絡会&懇親会

1月17日(土) Third Place 仲町（逗子災害ボランティアネットワーク主催）

災害時の広域連携に向けた関係を強化するため、逗子・横須賀・三浦の災害ボランティアネットワークと4者で実施している三浦半島災害ボランティアネットワーク連絡会に参加。基本メンバーの4者に加え、逗子市社会福祉協議会からの参加もあった。各団体からの活動報告の後、神奈川県社会福祉協議会 地域福祉部地域課の志田課長と渡辺氏による講演「神奈川県社協から各市町の災害ボランティアセンターへの応援体制について」および質疑応答が行われた。続いて18:30まで懇親会が催された。

【参加会員3名（狩野、柿本、吉田見岳）】

⑥KSVN（神奈川災害ボランティアネットワーク）との連携

KSVNに、当会から吉田見岳幹事を引き続き派遣し、情報共有に努めた。

これらの取り組みは、災害時の対応力を高めるための重要な要素であるとともに、地域防災全体の中で他の活動と連動して進めているものである。

2. 地域防災力を高めるための支援／3. 認知促進と新会員の獲得

本年度の活動の多くは、地域防災や防災教育に関するものであり、項目2・3は重なる部分が多いためまとめて報告する。

発災直後から被災状況や支援ニーズをスムーズに収集できる仕組みづくりをすすめるため、町内会・自治会や避難所との連携を強化するとともに、事前の災害対策を通じて地域全体の対応力向上への取り組みを支援した。

今年度はとくに、ペット防災および学校での防災教育の活動が増加した。

①HSVN主催の活動（共催も含む）

●HSVN 葉山まちあるき 第14回 4月19日(土) 長柄交差点バス停集合

長柄交差点バス停を起点に桜山隧道脇階段から長柄桜山古墳をまわり、葉桜会館経由でシンデレラ階段から長柄会館・御霊神社へと歩いた。【参加者29名(うち会員7名)】

●**被災地支援活動報告／HSVN総会記念講演会** 6月15(日) 葉山町福祉文化会館

会員総会終了後に、会員から令和6年能登半島地震の被災地支援活動についての報告を行った。【参加者33名(うち会員21名)】

その後、休憩をはさみ、葉山町社協との共催での記念講演会(一般公開)を実施。DMTC(東京大学生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター)副センター長の沼田准教授の講演を行った。【参加者 68名(うち会員 20名)】

●**HSVN 葉山語り場** 8月25日(月) 葉山港港湾管理事務所

葉山ハートセンター副院長で外科医師の河内順先生による講話、岡村恭子幹事による「葉山のお菓事情」の話の後、グループワークを行った。【参加者 27名(うち会員 14名)】

●**HSVN 100万人の線香花火ナイト** 3月11日(水) 葉山町役場前

例年通り8月11日山の日日に森戸海岸海水浴場中央入口付近で実施の予定だったが、海の家も休業する強風のために中止し、線香花火の配布のみ行った。本年3月11日が東日本大震災から15年の節目となることから会場を変更して実施した。【参加会員 3名】

②**防災イベントへの参加・協力など**

●**一色第3町内会 防災キャンプ** 5月24日(土) 主馬寮公園

例年行われている防災キャンプに参加したが、雨予報のため宿泊訓練は中止となった。【参加会員 3名】

●**介護サービスセンタースタッフ救命講習** 5月27日(火) 葉山町社協

HSVNの応急手当普及員 3名が普通救命講習(簡略版)を実施。【参加会員 3名】

●**葉山町総合防災訓練～防災フェア～** 10月19日(日) 葉山町立上山口小学校

葉山町社協と共同で、パネルの展示、活動資機材の展示、説明と広報物(冊子・リーフレット)の配布、重機ラジコンなどを実施。ペット防災チームは別テントで展開。交通の便がわるい会場のため、来場者は約300名にとどまった。【参加会員 8名】

●**はやま防災ネットワーク大雨避難ワークショップ** 11月7日(金) 新葉山はばたき

生活介護事業所「新葉山はばたき」利用者の保護者など28名が集まった災害時避難を考えるワークショップにファシリテータを派遣。【参加会員 1名】

●**シェルターワン 避難所設置運営訓練** 11月10日(月)～11(火) 南郷上ノ山公園

清水建設の社内ベンチャー「シェルターワン」による福祉避難スペース設置運営の実証実験に参加。

HSVNは設置・撤去、食事配膳を担当。【参加会員 6名】【説明会 3回】

※シェルターワンからの協力者への謝金は参加メンバーに還元した。

●**福祉防災フェス** 11月29日(土) 葉山町立長柄小学校

長柄小学校50周年記念PTA行事「長柄小フェス」・避難所運営訓練と同時開催。HSVNは、校庭で①土のう作り体験 ②重機ラジコン操作体験 ③災害VCの広報(葉山町社協と共同) ④ペット防災、体育館で、⑤救命体験(AEDを使った心肺蘇生法・気道異物除去) ⑥携帯トイレの使い方講座 を実施。【参加会員 8名】【実行委員会 5回】

●**真名瀬・森戸・芝崎町内会・真名瀬子ども会 合同防災訓練** 2月14日(土) 真名瀬会館

3度目の実施となる4者合同の防災訓練に参加。炊き出しの手伝いなどを行なった。【参加会員 3名】

●**平塚市災害ボランティアセンター設置運営訓練** 2月14日(土)平塚市勤労会館

平塚での台風被害における支援ニーズの紹介や支援計画の見立ての体験、平塚市が寄付された排水ポンプによる床下浸水時の汚水汲み出しのデモの見学などを行なった。【参加会員 2名】

③**ペット防災への取り組み**

HSVNの新たな取り組みとしてペットの防災・避難に係る活動も実施した。

星幹事と一緒にペット災害危機管理士として活動していた新入会の石井会員から「今後はHSVNの一部として活動したいとの申し出があり、HSVN内でペット防災を担当する「ペット災害危機管理士チーム葉山」として活動を進めることになった。

7月30日にカムチャッカ半島付近の地震により発令された津波警報の際、避難行動においてペットと一緒に避難で混乱があったこともあり、関心が高くなった様子で、町内会からのペット防災講座の要望が急増。石井会員には下記講座等で講師を務めてもらっている。

●**ペット同伴避難所演習** 7月9日(水) 仙光院

ペット災害危機管理士2名により試験的に実施されたペット同伴避難の避難所シミュレーションに参加。犬9頭と15名が参加し、行政からも防災安全課2名・環境課2名が出席。【参加会員 4名】

●**向原町内会 ペット防災講座** 10月4日(土) 新葉山はばたき

向原町内会からの「ペット同行避難について話をしてほしい」という要望に応じ、石井さんの講座を実施。悪天候にもかかわらず参加者15名が集まった。【参加会員 3名】

●**木の下町内会 ペット防災講座** 11月9日(日) 木の下会館

木の下町内会からも要望があり、ペット防災基礎講座を実施。参加者12名のうち4名はペットを飼っていないというのが他とは違っていた。【参加会員 2名】

●**葉山仙光院ペット防災のお話し** 12月6日(土) 仙光院

ペット災害危機管理士®チーム葉山名義で、ペット防災講話と懇親会のトライアルに参加。メンバーはHSVNペット防災チームと同じだが、HSVNの冠を付けずに試行的に実施した。【参加会員 3名】

④防災教育の支援

防災関係に限らず地域活動への参加を広げたことで認知が上がり、それにより学校からの防災教育の要請も急増した。今後の地域防災の担い手育成のためにも、積極的に防災教育にも取り組んでいく。

●一色小学校5年1組 総合学習授業 7月10日(木) 葉山町立一色小学校

5年1組の総合学習の授業として、災害と防災についての講義と「逃げ地図」のワークショップを行った。【参加会員 3名】

●葉山中学校 第一学年総合学習中間発表 7月18日(金) 葉山町立葉山中学校

中学1年生が今年度の総合学習として「心地よい避難所」をテーマに進めた研究成果の中間発表会を5つのグループに実施。各グループでの講評を担当。【参加会員 5名】

●葉山中学校 第一学年総合学習研究発表会 10月22日(水) 葉山町立葉山中学校

前述の中間発表の続き。前回通り講評を行うという話だったが、教育関係者の見学に内容が変わり、体育館での合同発表会となった。【参加会員 4名】

●葉山中学校防災デー 11月6日(木) 葉山町立葉山中学校

全校生徒が参加する初の防災イベント。HSVNでは体験活動「校舎内のあぶないところ探し」を2コマ担当し、各回12名の生徒が参加。フロアごと3つのグループに分かれ、各階の危ないところ探しの後、各グループの発表をしてもらった。まとめとして、講評と「どんな場所に注意してほしいか」の話でまとめた。【参加会員 6名】

●長柄小学校5年生総合学習授業 11月25日(火) 葉山町立長柄小学校

5年生3クラスを対象に避難所および避難生活を中心とした児童からの18の質問への回答および、災害時には地域にいる子どもたちの力が必要であり、そのためにはふだんからの地域とのつながりが必要であることを伝えた。【参加会員 1名】

●南郷中学校探究学習発表会 3月13日(金) 葉山町立葉山中学校

1年生の探究学習発表会に出席し、防災をテーマにした5つのグループの発表に対して講評を行った。【参加会員 1名】

●てんでんこ逗葉への支援体制の継続

HSVNが協力団体として支援している「てんでんこ逗葉」が小学生向けに例年通りの活動を行なった。「ウイテマテ（水辺のセルフレスキュー）」（6月15日荒天のため中止）・「募金活動&線香花火ナイト」（8月11日実施）・「防災キャンプ」（10月3~4日実施）・「防災センター遠足」（12月6日実施）。

⑤避難所運営委員会への出席

昨年に引き続き、オブザーバーとして2つの校区の避難所運営委員会に出席した。

- 一色小学校避難所運営委員会(3回) (4月22日(火)・7月7日(月)・10月30日(木))
- 長柄小学校・南郷中学校避難所運営委員会(5回) (5月15(木)・7月15日(火)・8月6日(水)・9月17日(水)・10月21日(火))

⑥防災以外のイベントへの参加・協力

- かざはや夏の夜祭り 7月26日(土) 堀内防災広場

木の下・あずま・長柄下の3町内会合同による初のイベントで、HSVNIは宮城県石巻市の会社が製造する「牛タン入りつくね」500本を葉山産の炭で焼いて提供する「復興支援屋台」を出店。収益金12,088円は赤い羽根共同募金の「ボラサポ(災害ボランティア・NPO活動サポート募金)・令和6年能登半島地震」へ寄付した。

- 堀内互互助プラットフォーム ほりうち地域交流会

04/30(水) 13:00~21:00 4月30日(水)・10月29日(水)・1月28日(水) SEE THE SUN
10月の収穫祭ではPRブースも出展

- 長柄小学校コミュカフェ 5月7日(水)・6月11日(水)・7月16日(水) 葉山町立長柄小学校

⑦その他の広報活動

- リーフレットの制作と配布

HSVNI紹介のためのリーフレット3,000部を新たに制作し、先に制作した冊子「3日間を生き延びる」とともに、参加イベントなどで配布。

- WEB・SNSでの発信

WEB・SNSを利用し、開催イベントの情報や募集、終了イベントの終了報告など日常的な情報発信を行った。

- ラジオ出演 7月1日 湘南ビーチFM

湘南ビーチFM「わっしょい葉山」に出演し、HSVNIの活動を紹介した。

- 冊子掲載 3月13日(金)発行

「湘南ビーチFMマガジン vol.80 Spring」防災特集で、1/2ページほどのスペースでHSVNIの活動が紹介された。

4. その他（被災地支援活動の継続・組織体制の見直しと体質強化）

- ① 被災地支援活動について、災害ボランティアの育成や支援活動に参加する会員への助成を行い、継続した活動を行なった（2025年度は、令和6年能登半島地震により被災した石川県志賀町への支援として運行された「能登支援ボランティアバス」に会員1名が参加。
- ② 執行部の世代交代による組織の活性化をはかるとともに、活動ごとにプロジェクトチーム制を導入。より広い活動を行える体制を整えるとともに、組織の持続可能性を高めた。
- ③ 災害ボランティアセンター運営をはじめとする災害対策の知見を高めるべく、会員が個人として外部の研修・訓練等へ参加している。

※昨年度までは別添していた参加状況の資料は本年度から省略する。

総括

以上のように、地域防災や防災教育をはじめとした多様な活動の広がりが見られた一年となった。これらの取り組みを通じて、災害ボランティアセンターに関する準備や連携も含め、HSVNの活動は地域における防災力向上に寄与するものとなっている。その一方で、稼働する会員が限られており、負担の集中が課題として顕在化している。継続した活動を維持するためには、既存会員の参加率向上および新会員の獲得が引き続き重要である。

組織状況報告

2025年度末 会員数49名（うち正会員37名、賛助会員10名）

2025年度の推移 4名入会 3名退会

2025年度収支報告

| 科目 | 2025年度予算 (円) | 2025年度収支 (円) | 摘要 |
|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------------|
| I 収入の部 | | | |
| 1) 会費 | 47,000 | 53,000 | 今年度会費@1,000×50名、前年度会費3名 |
| 2) 助成金 | 100,000 | 100,000 | 年末たすけあい運動事業助成金 |
| 3) 参加費 | 0 | 0 | |
| 4) 寄付金 | 20,000 | 5,000 | |
| 5) 繰越金 | 72,388 | 72,388 | 前年度からの繰越金 |
| 6) 預金利息 | 0 | 619 | |
| 収入合計 | 239,388 | 231,007 | |
| II 支出の部 | | | |
| 1 事業費 | | | |
| 1) 訓練研修 準備・実施費 | 57,000 | 0 | 訓練・研修諸費用 |
| 2) 訓練研修 通信・印刷費 | 5,000 | 0 | はがき・切手・郵送料など |
| 3) 訓練研修 講師・会場費 | 15,000 | 40,150 | 講師謝礼、会場使用料など |
| 4) 訓練研修 参加・移動費 | 0 | 0 | |
| 5) 連携プロジェクト関係費 | 0 | 0 | |
| 6) 災害支援活動派遣関係費 | 0 | 0 | |
| 7) 防災教育活動費 | 10,000 | 0 | てんでんご返葉助成など |
| 8) 広報 PR 活動費 | 50,000 | 7,230 | 広報活動に係る費用（リーフレット印刷） |
| 9) 地域活動関係費 | 39,388 | 18,245 | 町内連携にかかる費用 |
| 事業費計 | 176,388 | 65,625 | |
| 2 管理費 | | | |
| 1) 加盟会費 | 13,000 | 10,000 | KSVN |
| 2) 保険料 | 1,000 | 840 | イベント保険 |
| 管理費計 | 14,000 | 10,840 | |
| 3 事務費 | | | |
| 1) 会議費 | 10,000 | 6,040 | |
| 2) 交通費 | 0 | 0 | 交通費 |
| 3) 通信費 | 12,000 | 0 | はがき・切手・郵送料など |
| 4) 消耗品費 | 4,000 | 3,791 | 印刷用紙・事務用品など |
| 5) 機材購入費 | 0 | 20,432 | |
| 6) 雑費 | 3,000 | 0 | 諸雑費 |
| 事務費計 | 29,000 | 30,263 | |
| 4 緊急支援準備金積立 | 20,000 | 50,000 | |
| 繰越抜き支出合計 | 239,388 | 156,728 | |
| 5 繰越・繰入金 | 0 | 74,279 | |
| 支出合計 | 239,388 | 231,007 | |
| 収支 | 0 | 0 | |

緊急支援活動準備金積立の部



| | | | |
|----------------|----------------|----------------|------------|
| I 収入の部 | | | |
| 1) 一般会計より積立 | 20,000 | 50,000 | 一般会計より繰り込み |
| 2) 寄付金 | 0 | 20,000 | |
| 3) 繰越金 | 206,407 | 206,407 | 前年度繰越金 |
| 収入合計 | 226,407 | 276,407 | |
| II 支出の部 | | | |
| 1) 緊急支援活動費 | 226,407 | 5,000 | 緊急支援活動 |
| 2) 繰越金 | 0 | 271,407 | 次年度へ繰越 |
| 支出合計 | 226,407 | 276,407 | |
| 収支 | 0 | 0 | |

2025年度収支会計監査報告

2026年5月2日

会計監査報告書

葉山災害ボランティアネットワーク
代表 狩野友伸 殿

会計監査 松元美恵 
会計監査 吉田健太郎 

葉山災害ボランティアネットワークの2025年度会計監査を下記のとおり実施しましたので報告します。

記

監査実施日

2026年5月2日

監査書類

2025年度収支会計報告書 および 関係書類監査結果、上記書類について、厳正に監査を行った結果、いずれも正確かつ適正に取り扱われていることを認めます。

以上

2025年度のご寄付について

2025年度は、小峰道晴さまからの寄付と、またHSVNの佐藤文彦会員から緊急支援活動準備金への寄付をいただきました。

ご厚意に深く感謝申し上げますとともに、有意義に利用させていただきましたことをご報告します。

【第2号議案】2026年度活動計画

HSVNは、これまでの活動を通じて、災害ボランティアセンターに関する取り組みに加え、平時の地域防災や防災教育に関わる機会が広がっている。

こうした活動の広がりを踏まえ、本年度は全体のバランスを意識しながら、継続的な活動の充実を図るとともに、会員の稼働率向上および新規会員の獲得に取り組む。また、地域防災力向上に資する取り組みとして、災害VC運営も含めた対応力の強化を図る。

あわせて、特定メンバーへの負担集中を解消するため、活動領域ごとのユニット制を導入し、役割分担の明確化を図る。

〈2026年度活動計画 基本重点事項〉

1. 実効性ある災害VC準備と被災地支援活動の継続
2. 地域防災力を高めるための連携
3. 会員活動の活性化と新規会員の獲得

1. 実効性ある災害VC準備と被災地支援活動の継続

葉山町社協と連携したHSVCの円滑な設置・運営、および被災地支援活動を継続していくとともに、地域防災全体の取り組みとの連動を意識しながら、以下の施策を講じる。

①HSVC設置・運営マニュアルの変更点と新しい運営体制の周知

昨年度公開した新マニュアルにおける変更点および運営体制の変更について、説明動画を制作し会員に公開するとともに、設置・運営訓練等を通じて、既存会員に徹底的な周知を図っていく。また、訓練等や近隣社協との情報共有等を通じて浮き出した課題について、実効性のある解決策を探り、定期的に災害VCのあり方や運営マニュアルを見直していく。あわせて、他の防災活動とも連携しながら理解の定着を進めていく。

②三浦半島地区災害ボランティアネットワーク連絡会&懇親会

逗子・横須賀・三浦の災害ボランティアネットワークと4者で実施している三浦半島災害ボランティアネットワーク連絡会での連携した活動を、具体的な取り組みに発展させる。全体での連携が困難であることから、個別に連携した活動も視野に入れた提案を行っていく。

③被災地支援活動の継続

被災地支援活動について、災害ボランティアの育成や支援活動に参加する会員への助成を行い、継続した活動を行う。

④KSVN（神奈川災害ボランティアネットワーク）との連携

KSVNに、当会から幹事を引き続き派遣し、情報共有に努める。

また、これらの取り組みを通じて得られた知見は、地域防災に関わる他の活動にも活かしていく。

2. 地域防災力を高めるための連携

上記1.②に提示した災害ボランティアネットワークとの連携はもちろん、学校のほか、これまでは連携の取れていなかった組織・団体との連携も強化し、地域防災力向上に役立てるとともに、より広域での相互支援の枠組みを作る。また、新しい交流がHSVNの活性化につながることを期待している。

①防災教育の支援や子どもたちとの連携

昨年度に引き続き、学校における防災教育を支援していく。地域防災の重要な担い手である中学生との連携した活動を進める。

②新しい組織・団体との連携

平塚をはじめ実際の被災地では青年会議所が復旧復興の力になっている。HSVNも逗子葉山青年会議所との連携を進め、防災イベントなどへの協力などを行い、関係性を強化していく。また鎌倉を中心に活躍している学生防災普及団体Genkaiには葉山・逗子のメンバーも多いので、共同で活動できる機会を作っていく。

3. 会員活動の活性化と新規会員の獲得

冒頭で提示した課題解決のため、既存会員の参加率を上げるとともに、現役世代を中心とした新規会員の獲得を図る必要がある。時間や経済的余裕のない現代において、ボランティアであっても何かしらの参加する魅力や意味（楽しさや満足感、お得感など）を提供する活動を行う必要を感じている。

①会員限定セミナーの実施

HSVN会員に向けた災害対策のセミナーを企画しすすめていく。参加することで、災害対策の知識が身につく、自分や家族の身を守る助けになるスキルの習得や、被災地支援のノウハウも自分たちが被災したときにも役立つという方向性で企画する。また、参加することで、仲間と一緒に活動できる楽しい場の提供も図りたい。

主要メンバーが持っているスキルを伝えていくことで、今後のイベントを支える人材の育成にもつなげていく。

②会員の交流会の実施

年に一度程度の懇親会をもっと参加しやすい形で実施する。今後のHSVNの活動のアイデアを提供してもらうことで、多くの人の興味を得る活動を生み出していく。また、提案を受け企画を任せることで会員が当事者意識を持ち活動する機会につなげていく。

2026年度は、これらの重点事項に基づき、活動の広がり と 継続性の両立を図りながら、HSVNとして地域に根ざした防災活動を着実に進めていく。

【第3号議案】2026年度予算

助成金減額の中で活動計画案の重点事項を実現するため、昨年度収支を参考に、事業費を若干抑え、機材購入費を増額し、他の項目を維持した内容で、下記の通り、2026年度予算を提案する。

| 科目 | 2025年度 予算(円) | 2025年度 収支(円) | 2026年度 予算案(円) | 摘要 |
|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|-----------------------|
| I 収入の部 | | | | |
| 1) 会費 | 47,000 | 53,000 | 49,000 | 会費@1,000 × 49名 |
| 2) 助成金 | 100,000 | 100,000 | 80,000 | 赤い羽根・はやま福祉活動助成事業助成金 |
| 3) 参加費 | 0 | 0 | 0 | |
| 4) 寄付金 | 20,000 | 5,000 | 0 | |
| 5) 繰越金 | 72,388 | 72,388 | 74,279 | 前年度からの繰越金 |
| 6) 預金利息 | 0 | 619 | 0 | |
| 収入合計 | 239,388 | 231,007 | 203,279 | |
| II 支出の部 | | | | |
| 1 事業費 | | | | |
| 1) 訓練研修 準備・実施費 | 57,000 | 0 | 24,000 | 訓練・研修諸費用 |
| 2) 訓練研修 通信・印刷費 | 5,000 | 0 | 5,000 | はがき・切手・郵送代など |
| 3) 訓練研修 講師・会場費 | 15,000 | 40,150 | 10,000 | 講師謝礼、会場使用料など |
| 4) 訓練研修 参加・移動費 | 0 | 0 | 0 | |
| 5) 連携プロジェクト関係費 | 0 | 0 | 0 | |
| 6) 災害支援活動派遣関係費 | 0 | 0 | 0 | |
| 7) 防災教育活動費 | 10,000 | 0 | 10,000 | てんでんご逗葉助成など |
| 8) 広報PR活動費 | 50,000 | 7,230 | 35,000 | 広報活動に係る費用 |
| 9) 地域活動関係費 | 39,388 | 18,245 | 35,000 | 町内連携にかかる費用 |
| 事業費計 | 176,388 | 65,625 | 119,000 | |
| 2 管理費 | | | | |
| 1) 加盟会費 | 13,000 | 10,000 | 16,000 | KSVN、社協(2025・2026年度分) |
| 2) 保険料 | 1,000 | 840 | 3,000 | イベント保険 |
| 管理費計 | 14,000 | 10,840 | 19,000 | |
| 3 事務費 | | | | |
| 1) 会議費 | 10,000 | 6,040 | 10,000 | |
| 2) 交通費 | 0 | 0 | 0 | 交通費 |
| 3) 通信費 | 12,000 | 0 | 0 | はがき・切手・郵送代など |
| 4) 消耗品費 | 4,000 | 3,791 | 5,000 | 印刷用紙・事務用品など |
| 5) 機材購入費 | 0 | 20,432 | 30,000 | |
| 6) 雑費 | 3,000 | 0 | 5,000 | 諸雑費 |
| 事務費計 | 29,000 | 30,263 | 50,000 | |
| 4 緊急支援準備金積立 | 20,000 | 50,000 | 15,279 | |
| 繰越抜き支出合計 | 239,388 | 156,728 | 203,279 | |
| 5 繰越・繰入金 | 0 | 74,279 | 0 | |
| 支出合計 | 239,388 | 231,007 | 203,279 | |
| 収支 | 0 | 0 | 0 | |

緊急支援活動準備金積立の部

| | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|------------|
| I 収入の部 | | | | |
| 1) 一般会計より積立 | 20,000 | 50,000 | 15,279 | 一般会計より繰り込み |
| 2) 寄付金 | 0 | 20,000 | 0 | |
| 3) 繰越金 | 206,407 | 206,407 | 271,407 | 前年度繰越金 |
| 収入合計 | 226,407 | 276,407 | 286,686 | |
| II 支出の部 | | | | |
| 1) 緊急支援活動費 | 226,407 | 5,000 | 286,686 | 緊急支援活動 |
| 2) 繰越金 | 0 | 271,407 | 0 | 次年度へ繰越 |
| 支出合計 | 226,407 | 276,407 | 286,686 | |
| 収支 | 0 | 0 | 0 | |

【第4号議案】役員改選（案）

2026年度の役員について、以下のように提案する。

| 役 職 | 氏 名 | 備 考 |
|---------|-----------|------------|
| 代 表 | 狩 野 友 伸 | 留任 |
| 副 代 表 | 柿 本 秀 二 | 留任 |
| 副 代 表 | 関 志 歩 | 留任 |
| 会 計 | 窪 田 美 樹 | 会計補佐から役職変更 |
| 幹 事 | 岡 村 恭 子 | 留任 |
| 幹 事 | 星 加 代 子 | 留任 |
| 幹 事 | 本 多 法 仁 | 留任 |
| 幹 事 | 吉 田 見 岳 | 留任 |
| 会 計 監 査 | 松 元 美 恵 | 留任 |
| 会 計 監 査 | 吉 田 健 太 郎 | 留任 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | 丸 恭 輔 | 顧問から退任 |
| | 雨 宮 正 治 | 幹事から退任 |
| | 西 山 利 廣 | 会計から退任 |
| | | |
| | | |

【第5号議案】年会費改定（案）

HSVNIは、設立以来14年の間、正会員・賛助会員ともに年会費を1,000円としてきた。この間、活動の多様化・拡大に伴い運営に必要な経費が増加していることに加え、2026年度より共同募金会からの助成金額が減額されたことも重なり、持続可能な活動を継続するために、2027年度より年会費の改定を行いたい。

2027年度より、正会員・賛助会員ともに**年会費を1,000円から2,000円に改定**する。

なお、昨年度の総会において改定の可能性についてお伝えしていたが、今回が正式な提案となる。

以 上